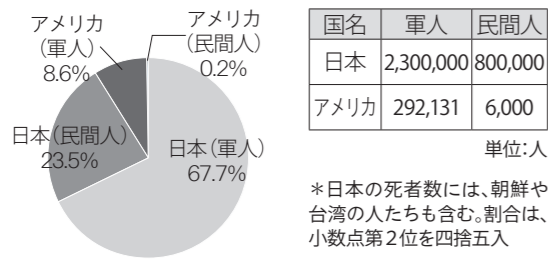


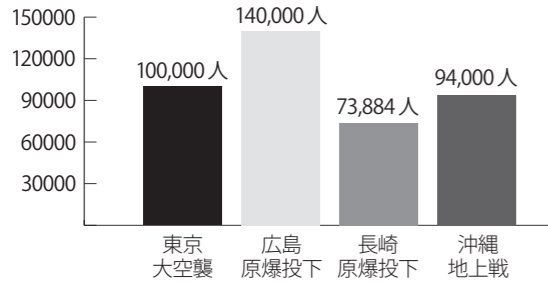
### 第二次世界大戦の日本とアメリカの死者数

(資料: The New Encyclopaedia Britannica, 15th ed., 1994, 日本は厚生労働省)



### 民間人の死者数が多い主な被害

(資料: 広島県、長崎県、沖縄県など)



戦死者は310万人。現在も113海外で戦死した人は約210万人。現在も113万人の遺骨が帰還できず、ジャングルの奥地や冷たい海中で眠ったままです。一方、民間人の死者80万人のうち、50万人は空襲による犠牲者とみられています。東京大空襲では、10万人以上が死亡。街は、一晩で焦土と化しました。原爆による死者は、広島が14万人、長崎が7万人以上といわれています。激しい地上戦が行われた沖縄では、民間人9万4000人が犠牲に。沖縄戦終結後も、集団自決などにより多くの人たちが亡くなりました。

### 薄れゆく戦争の記憶

2013年にNHK放送文化研究所が実施した世論調査によると「日本が真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まった日」の正答率は20%。世代別では、20・30代は6・9%、40・50代は16・5%、60代以上は24・8%でした。若者に限らず、高齢者でも4人に1人しか知らないという現状が浮き彫りになりました。

また、10年の調査では「広島に原爆が投下された日」の正答率は26・8%で「長崎に原爆が投下された日」は23%で、世代別では20・30代は25%に対し、60代以上は19%と、若者の正答率が高いことが分かりました。

終戦から70年。戦争を体験した世代が減少し続ける一方で、戦争を知らない、関心がない世代が増えていきます。今日の平和な社会は、戦争の歴史と大きな犠牲の上に成り立っています。悲惨な戦争の記憶が風化していくことは、私たちに

戦争の恐ろしさ、悲しさを忘れないために

## 戦争遺構

世界各地には、戦争を繰り返さないことを願って、建てられたり、保存されたりしている「戦争遺構」がたくさん存在しています。

### サイパン島 バンザイ・クリフ

サイパン島最北端の岬で、太平洋戦争末期に追い詰められた日本人が自決した悲劇の地。日本人が「万歳」と叫びながら約80m下の岩場の海に身を投げました。人数は、1000人とも1万人ともいわれています。岬には、二十数個の慰霊碑が建てられ、多くの人が慰霊に訪れます。



### 沖縄 平和祈念公園

沖縄戦終焉の地・摩文仁の丘を南に望む台地に立地。沖縄戦の歴史を次代に語り継ぐ「沖縄県平和祈念資料館」、沖縄戦の戦没者約24万人余の氏名を刻んだ「平和の礎」、18万余柱の遺骨が納められた「国立沖縄戦没者墓苑」などがあります。戦争の恐ろしさや世界の恒久平和を願う地として、多くの人が訪れています。



### 広島 原爆ドーム

原爆の爆心地から北西約160メートルにあった産業奨励館。人類史上初めて使用された核兵器によって、被爆した建物のひとつです。1996年に世界遺産への登録が決定。人類が残した「負の遺産」として、核兵器の恐ろしさを現代へ伝え、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。



310万人もの戦死者を出し、人々につらく悲しい記憶を残した戦争。終戦から70年がたち、戦争の風化が課題になっています。私たちは、決して忘れてはいけません。日本が、戦争の歴史と大きな犠牲の上に成り立っていることを。

# 証言 Episode 1

## 70年前の悲劇



写真は吉田克子さん提供

### 今、戦争を振り返る

1940年、日中戦争が長期化していた日本は、石油などを獲得するため、イギリスなどの植民地がある東南アジアへ。武力による南進を始めました。

日本がこのような行動をとったことにより、日米関係は悪化。南進をやめない日本に、アメリカは石油輸出を止める経済制裁を行いました。進軍に不可欠な石油を止められた日本は、アメリカとの戦争に踏み切りました。41年12月8日、日本軍はアメリカの海軍基地があるハワイ・真珠湾を奇襲攻撃。太平洋戦争が始まりました。開戦後、日本はさまざまな勢いで、東南アジアや南太平洋の広大な地域を占領します。42年1月にマニラ、2月にシンガポール、3月にはジャワ島を次々と占領。しかし、6月のミッドウェー海戦で大敗を喫し、日本軍の攻勢は止まりました。

43年2月、ガダルカナル島で敗北し、日本は後退を続けます。すると、すべての国力を投入する総力戦として、国民を徹底的に動員。多くの成人男子が戦場へ送り出されました。また、大学生などを軍隊に徴収する学徒出陣を実行。労働力が不足すれば、中学生や女学生なども軍需工場で働きました。

44年7月にサイパン島が陥落すると、本土への空襲が本格化。日本は、10月のレイテ沖海戦で特攻作戦に乗り出します。45年3月、東京大空襲で東京は壊滅し、硫黄島も陥落。本土への空襲は、さらに激しさを増しました。アメリカ軍は沖縄に上陸。激しい地上戦を開始します。さらに、不沈艦といわれた戦艦大和も沈没。日本軍の戦力は、いよいよ限界に達します。

45年7月、連合国がポツダム宣言を発表しても、日本は抵抗を続けました。アメリカ軍は、8月6日に広島、9日には長崎に原子爆弾を投下。日本は、ポツダム宣言を受け入れ、無条件降伏を決定。15日、昭和天皇は玉音放送で、国民に敗戦を告げました。

1945(昭和20)年	1944(昭和19)年	1943(昭和18)年	1942(昭和17)年	1941(昭和16)年	真珠湾攻撃の主な出来事
8 6 4 3	10 8 7 6 2	11 10 7 5 4 2 1	12 6 3 2 1		真珠湾攻撃
15 14 9 6 23 24 7 1 25 10	25 23 11 3 7 19 2 2 26 1 20 5	25 24 2 29 29 18 1 2 1 7	8 5 8 15 23 2 7	25 23 16 10 8	ルソン、グアムに上陸。マレー沖海戦
					英領ボルネオに上陸
					ウエーク島に上陸
					香港を占領
					マニラを占領
					ラバウルに上陸
					シンガポールを占領
					ビルマラングーンを占領
					ミッドウェー海戦
					ニューギニアサバアで日本軍全滅
					ニューギニア・ブナで日本軍全滅
					ガダルカナル島を撤退
					山本五十六連合艦隊司令長官が戦死
					アッツ島で日本軍全滅
					キスカ島の日本軍撤収
					コロンバンガラ島の日本軍撤退
					マキン島の日本軍全滅
					タラワ島の日本軍全滅
					ルオット島、クエゼリン島の日本軍全滅
					マリアナ沖海戦
					サイパン島の日本軍全滅
					テニアン島の日本軍全滅
					グアム島の日本軍全滅
					フィリピン沖海戦で連合艦隊壊滅
					フィリピン沖海戦で特攻開始
					東京大空襲
					硫黄島の日本軍全滅
					米軍が沖縄本島に上陸
					戦艦大和が沈没
					ルソン島の日本拠点陥落
					沖縄戦が終結
					広島に原爆投下
					長崎に原爆投下
					ポツダム宣言を受諾
					昭和天皇が玉音放送で敗戦を告げる

※参考文献: 鹿島平和研究所「日本外交史」鹿島研究所出版会、日本戦災遺族会 昭和54年度「全国戦災実調査報告書」など